

年間特集

思い出の彗星[4]

彗星への思い出

～ハレーに始まり、百武、ヘール・ボップにつながる～

牧野 吉伸（新城市立八名中学校）

1. はじめに

昭和60年、愛知教育大学 澤武文研究室において天文学にふれ、卒業後は金子功氏の指導を受けた。小・中学校教員として、現在まで毎年生徒を集めて『星空を見る会』を行っている。今までに撮りためた写真も用いて、スライドにして紹介してきた。現在はパソコン、プレゼンテーションソフトにて紹介をしている。

2. ハレー彗星を見に

天文学を学んでいるものにとって、ハレー彗星はぜひともこの目で見たい存在であった。大学弓道部の仲間と南が開けている海岸に行き、明け方の空に初めて彗星を見た。この時の感動は、今でも忘れることができない。肉眼では、わずかに確認できる程度だったので、大騒ぎしながら双眼鏡を回して見た。どうしても写真にも残したいと、再び写真も撮りにも出かけた。天文教育に深くふれることになった。

3. 百武彗星とヘール・ボップ彗星

16ミリの魚眼レンズを購入したり、望遠鏡にカメラを取り付けたりして、さまざまな星夜写真を撮りながら、勤務する学校で『星空を見る会』を実施してきた。部分日食や金星食、流星群は経験したが、肉眼で見える大彗星はなかったので、彗星はほとんど気にかけてはいなかった。

そんな折り、彗星が話題になった。百武彗星は大変明るくなり、写真にも撮影できた。ただし、見える期間が短かったせいもあり、残念ながら多くの生徒に見せることはできなかった。

しかし、ヘール・ボップ彗星は、百武彗星からすぐの時期であり、多くの生徒にも観察を呼びかけ、一緒に『星空を見る会』としても実施できた。写真(図1)ではダストテイルだけでなく、イオンテイルもはっきり写すことができた。冬の星座であるオリオン座や、北の星座のカシオペア座等とも一緒に写すこともできた。そのため、彗星の説明、星座の説明にはこの写真を多用している。



図1 ヘール・ボップ彗星とカシオペア座

4. おわりに

昨年は、金環日食に始まり、金星の太陽面通過とさまざまな天体現象が話題の年であった。全校生徒及び保護者、希望する地域の方たちにも『太陽メガネ』を作成し、配布した。今年は、彗星の当たり年だそうである。多くの方たちに観察を呼びかけていきたいと思う。

そのために、ぜひとも、本会で事前に情報が提供されることを希望している。

牧野 吉伸